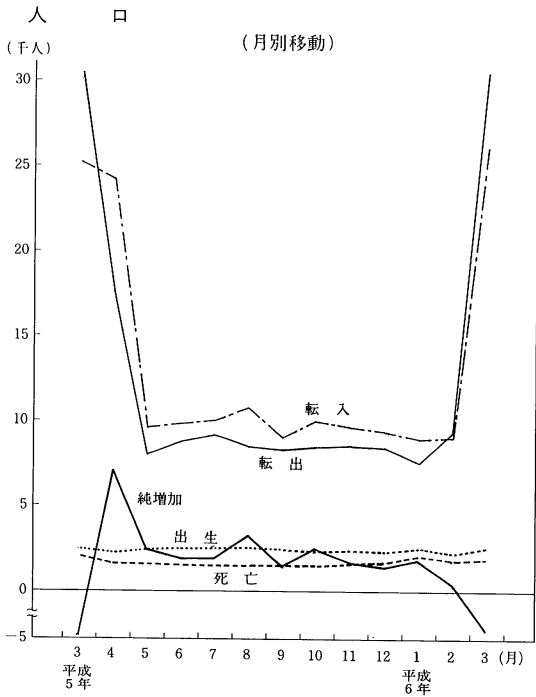
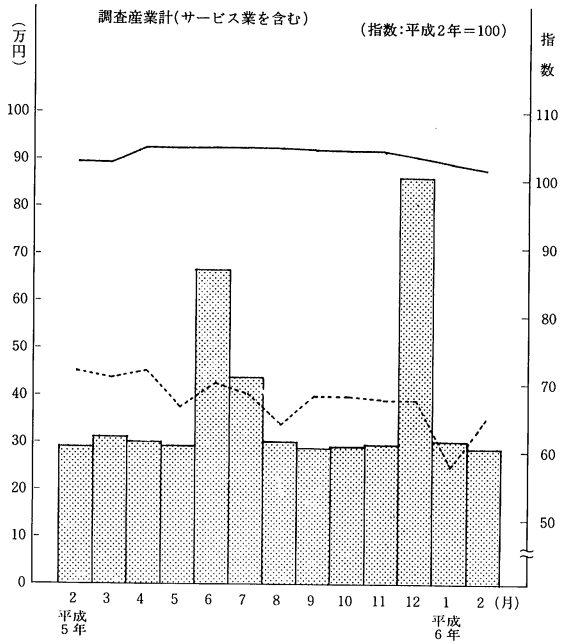


● 今月の主な動き

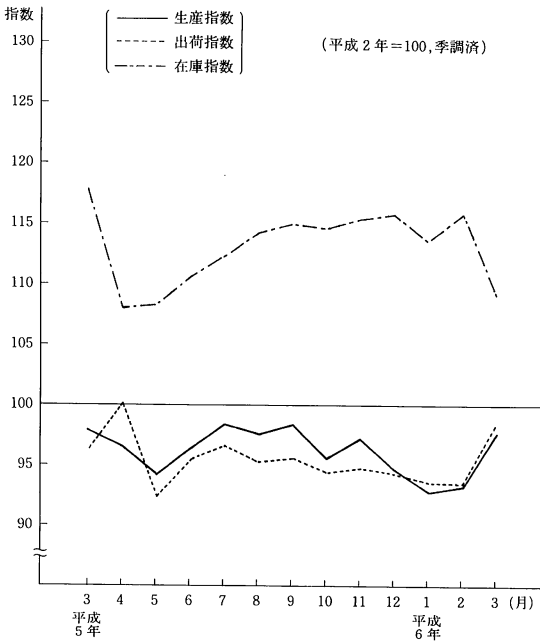
今月の主な動き



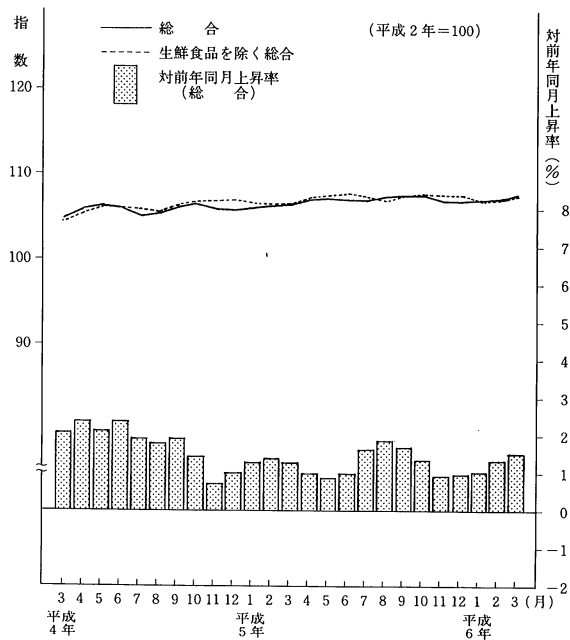
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部統計課

■人口(4月1日)

本県の人口は、3月中に4,048人減少し、4月1日現在で、2,930,488人(男1,464,346人,女1,466,142人)となった。

内訳は、自然動態で600人(出生2,549人,死亡1,949人)増加し、社会動態で4,648人(転入25,933人,転出30,581人)減少した。前年同月と比べると22,003人(0.76%)の増

加である。

市町村別では、増加が6市29町村,減少が14市36町村,増減なしが2村である。

世帯数についても3月中に、1,065世帯減少し898,061世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(2月)

1. 平均賃金の推移

2月の現金給与総額は、調査産業計で292,481円,対前年同月比もちあい,このうち,きまって支給する給与は288,520円,対前年同月比0.8%減であった。また,このうち,所定内給与は264,235円,対前年同月比0.3%増であり,超過労働給与は24,285円,対前年同月比11.1%減であった。

なお,物価上昇分を差し引いた実質賃金は,対前年同月比0.6%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお,事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

2月の総実労働時間は,調査産業計で157.8時間,対前年同月比2.2%減であった。このうち,所定内労働時間は145.1時間,対前年同月比1.5%減,所定外労働時間は,12.7時間,対前年同月比9.3%減であった。

3. 雇用の動き

2月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比1.3%減であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(3月)

本県における平成6年3月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は,季節調整済指数で,生産が97.7,出荷が98.5,在庫が109.1で,前月比は,生産が4.8%の上昇,出荷が5.3%の上昇,在庫が5.8%の低下であった。

前年同月比(原指数)は,生産が0.3%の低下,出荷が2.2%の上昇,在庫が7.4%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では,精密機械工業,電気機械工業,一般機械工業等が上昇し,化学工業,パルプ・紙・紙加工品工業,金属製品工業等が低下した。出荷では,

精密機械工業,非鉄金属工業,電気機械工業等が上昇し,鉱業,パルプ・紙・紙加工品工業,一般機械工業等が低下した。在庫では,鉱業,石油・石炭製品工業,その他工業等が上昇し,精密機械工業,繊維工業,鉄鋼業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では,資本財,耐久消費財等が上昇し,その他用生産財,非耐久消費財等が低下した。出荷では,資本財,鉱工業用生産財等が上昇し,その他用生産財が低下した。在庫では,すべてにわたって,低下した。

■消費者物価指数(3月)

平成6年3月の茨城県消費者物価指数(県平均)は,総合で107.5(平成2年=100)となり,前月比0.5%の上昇,前年同月比1.5%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……衣料6.1%,果物6.0%,穀類2.9%,野菜・海草2.5%,乳卵類1.6%,教養娯楽耐久財1.1%,身の回り用品1.1%

今月の下がった主な項目……漁介類1.9%,肉類1.3%,油脂・調味料1.1%

生鮮食品を除く総合は107.2となり,前月比は0.4%の上

昇,前年同月比は0.9%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	107.5	0.5	1.5	保健医療	102.1	△0.2	△0.3
食料	109.4	0.6	3.1	交通通信	99.7	0.1	△0.9
住居	113.9	0.2	2.3	教育	110.1	0.0	3.8
光熱・水道	101.8	△0.1	△1.4	教養娯楽	109.6	0.4	0.8
家具・家事用品	99.7	△0.2	△1.6	諸雑費	104.1	0.4	△0.6
被服及び履物	109.3	2.8	3.2	生鮮食品を除く総合	107.2	0.4	0.9